

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回吉川市健康増進計画策定委員会
開 催 日 時	平成18年11月29日(水) 午後2時から午後4時まで
開 催 場 所	吉川市保健センター 集団指導室
出席委員(者)氏名	今井伸雄委員、森田京子委員、高本真理子委員、関根勇委員、伊東孝委員、山崎成一委員、山崎隆委員、林芳男委員、戸張緑郎委員、小沢廣志委員、櫻田淳埼玉県立大学教授
欠席委員(者)氏名	
担当課職員職氏名	健康増進課課長補佐 和田秀代 健康増進課係長 日暮和子 健康増進課 健康増進係 西野亜季 健康増進課 健康増進係 北原真希 健康増進課 健康増進係 永橋文子
会議次第と会議の公開 又は非公開の別	1. 開会 2. 委嘱書交付及び委員の紹介 3. 吉川市健康増進計画策定委員会傍聴要領の承認 4. 議事 (1) 吉川市の健康に関する現状と課題の検討 (2) 課題別の対策の検討 5. 今後の進め方について 6. 閉会 ・会議の内容は全て公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	1人
会議資料の名称	1. 吉川市健康増進計画(素案) 2. 委員名簿
会議録の作成方法	■要点記録
会議録確認指定者	高本真理子委員、伊東孝委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

司会	開会
	委嘱書の交付
各委員	自己紹介
事務局	職員紹介
司会	会議に先立ち、報告させていただく。この会議は吉川市情報公開条例に基づき、公開となっている。また、吉川市市民参画条例に基づき、当委員会の傍聴要領を案のとおり制定してよろしいか。また、傍聴人数は会議室の広さを考慮して設定することとなっていることから、案として、5名とさせていただきたいが、よろしいか。
委員(全員)	異議なし
司会	設置要綱第4条に会長、副会長をおき、その選出は委員の互選にあると規定されているが、いかがか。
委員	(事務局一任の声)
司会	事務局一任との声があったので、会長を小沢委員、副会長を森田委員にお願いしたいが、ご異議ないか。
委員(全員)	異議なし
司会	これからの議事の進行は会長にお願いする。
小沢会長	会長あいさつ 議事に入るが、その前に議事録署名人を指名させていただく。今回は、高本委員、伊東委員にお願いする。 (1) 吉川市の健康に関する現状と課題の検討について 事務局から説明をお願いしたい。
事務局	事務局から素案の説明 続いて、計画期間について事務局より提案。平成19年度を初年度として、平成24年度までの6年間としたい。理由として、平成20年度からの医療制度改革に伴う「特定健診・保健指導計画」に合わせて同時期に見直しができるため。
小沢会長	素案及び計画策定期間について、各委員からの質問、意見をいただきたい。
山崎(成)委員	地域保健活動の推進における基本的な考え方で、「地域活動を進めます」とあるが、誰が進めていくのか。

事務局	行政と住民で進めていく。
関根委員	計画期間の確認をしたい。
事務局	平成19～24年度の6年間。
林委員	国保年金課では平成19年に特定健診・特定保健指導計画を策定し、平成20年度からの実施でその後5年毎の見直しがある。対象者は健康増進計画と重なるので、この計画期間で賛成。
各委員	提案どおりでよい。
小沢会長	(2) 課題別の対策の検討について
事務局	事務局から説明をお願いしたい。 課題別の対策について、要点の説明。 国の健康日本21計画では9つの柱を立てているが、吉川市では健診結果やメタボリックシンドロームの視点から、「肥満」を加えて10項目としている。
小沢会長	ただいま説明があった事務局案について、各委員からの質問、意見をいただきたい。
関根委員	基本的課題として4点挙がっているが、これは目標ではないか。
事務局	書き方を考える。
伊東委員	早世には自殺による死亡も含まれるのか。もし含まれるなら「9 休養・こころの健康づくり」に自殺の予防を位置づけるべきではないか。
事務局	自殺は死因の4～5位で、早世という点では大きな問題ではあるが、自殺の要因は複雑。この計画に取り入れるのは難しいと思われる。
伊東委員	精神障がい者の退院促進が進められており、地域でのアフターケアが必要になる。ストレス相談やスクールカウンセラーなどで取り組めないか。
事務局	健康日本21計画の基本的な考え方は、生活習慣病による早世・障がい予防といわれている。
山崎(隆)委員	自殺の要因は経済的問題もあり、この計画に入れるかは議論の余地がある。
櫻田教授	自殺者のなかには精神障がいを抱える方もおり、自殺について考えるなら、保健所の措置入院の数や自立支援医療の申請者数を挙げた上で、施策としてあげるのか、評価できるのか。
今井委員	電話相談などでのこころの健康に関する相談の需要はある。
戸張委員	自殺をこの計画に取り込むのは難しいだろう。

山崎(成)委員	この計画に入れて、具体的に何をするのか。全く載せないわけにはいかないし、どこまでの表現で入れるか。
伊東委員	この計画でいう早世に自殺が入っているのであれば、「9 休養・こころの健康づくり」の取り組みが弱いと感じた。健康増進計画は「生活習慣病予防」で進めていくという方針なら、それでもよいと思う。
林委員	自殺は経済的な問題が大きい。健康と切り離れたところの要因もある。この計画に取り入れるのは難しいか。職場、家庭に行政が入り込んでいくのは難しい。
伊東委員	精神の医療費が増加しており、それに伴い国保医療費も増加している点があるため発言したもの。
林委員	自分の体を自覚し、病気を予防していく本計画は「生活習慣病予防」が中心でよいのではないか。
小沢会長	大方の委員の意見により、自殺の予防対策については、この計画に入れないこととする。
関根委員	後期総合振興計画で、「食で育む健康づくり」が重点項目で挙がっているので、内容を確認し、整合性を図ってほしい。
事務局	了解。
	(3) 成人保健活動の推進について
小沢会長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	成人保健活動について要点説明
小沢会長	ただいま説明があった事務局案について、各委員からの質問、意見をいただきたい。
山崎(成)委員	進行管理が入っていない。
事務局	進行管理を追加する。
小沢会長	全体を通して、櫻田教授からご意見をいただきたい。
櫻田教授	他の市町村に比べ、明確に住民の立場でこうなってほしいという形になっている。データと体のしくみ、体の中身を知ることが重要であることを明確にしている所が良かった。具体的に施策を行っていくためには、研修や人材が必要。他市町で、うまくいっている例では、個別の支援をしっかりとやっている。その人の今までの歴史や家族の状況に合わせて、きめ細かな個別支援が必要となる。他機関と連携しながら、成果が出るような活動を希望する。データの分析など大学として協力できるこ

	とがあれば、協力していきたい。
小沢会長	ありがたい言葉をいただいた。ほかに何かあるか。
	次に、今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	本日の会議の意見を反映して原案を修正し、12月中旬～1月にかけて、パブリックコメントを求め、その後さらに修正した上で、次回の策定委員会で検討していただきたいと考えている。 次回の策定委員会については、2月上旬～中旬を予定している。
各委員	了承
小沢会長	これで議事を終了する。
司会	閉会

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成18年12月6日

署名委員 高本真理子 署名委員

伊東孝